

平成22年度のブナの開花状況と結実予測について

東北森林管理局では、毎年度、管内（福島県を除く東北五県）の145箇所でブナの開花及び結実の状況を定点観測しています。

初夏のブナの開花状況は秋の結実と密接な関係にあることが知られており、これまでの調査結果もそれを裏付けています。このことから、開花状況から結実の豊凶を推測することができます。

本日、平成22年度の開花状況調査の結果がまとまりましたので、その結果をお知らせします。これによると、今秋のブナの結実は、「青森県、岩手県及び山形県は凶作」、「秋田県は皆無」、「宮城県は並作」と見込まれます。

なお、この情報は研究機関等に提供していくことにしています。

【初夏のブナの開花状況とブナの結実予測】

開花状況及び推測されるブナの結実：下記のとおり

記

県名	開花状況					豊凶指数	結実予測
	多	中	少	非開花	計		
青森県	1	16	9	12	38	1.6	凶作
岩手県	0	3	18	3	24	1.1	凶作
宮城県	2	3	0	1	6	3.2	並作
秋田県	2	4	25	24	55	0.8	皆無
山形県	2	2	9	9	22	1.1	凶作
計	7	28	61	49	145		

東北森林管理局 計画部 指導普及課
 企画官 草留 一久
 企画係長 伊東 弘至
 Tel. 018-836-2023

(参考)

平成22年度のブナの開花状況とブナの結実予測について

1 本調査は、(独)森林総合研究所の専門家の指導を受けながら、以下により行っています。

【調査方法】 毎年度、145箇所(定点)において、開花状況(初夏)及び結実状況(秋)を調査します。

【ブナの開花状況の調査と結実予測】

○ 初夏に、開花状況を目視調査します。以下の区分で行います。

多 ほとんどの木に開花が見られる : 結実は「豊作」と予測
中 約半数の木に開花が見られる : 結実は「並作」と予測
少 僅かな木にのみ一部に開花が見られる : 結実は「凶作」と予測
非開花 全く開花が見られない : 結実は「皆無」と予測

○ 結実について、各調査地点の開花状況を「豊作→5、並作→3、凶作→1、皆無→0」として集計し、加重平均値により豊凶を推測する。

3.5以上 豊作
2以上3.5未満 並作
1以上2未満 凶作
1未満 皆無

【ブナの結実状況の調査と判定】

○ 秋に、結実状況を目視調査します。開花状況の調査と同様の手法で豊凶を判定しています。

2 最近3カ年の開花状況の調査・結実予測及び結実状況の調査と判定は、次のとおりとなっています。

県名	19年度		20年度		21年度	
	開花時	結実時	開花時	結実時	開花時	結実時
青森県	凶作(1.7)	皆無(0.8)	並作(2.4)	凶作(1.6)	並作(2.0)	凶作(1.4)
岩手県	凶作(1.5)	凶作(1.5)	並作(2.1)	凶作(1.5)	凶作(1.8)	凶作(1.1)
宮城県	凶作(1.5)	凶作(1.3)	豊作(3.7)	凶作(1.7)	並作(3.3)	並作(2.0)
秋田県	凶作(1.8)	凶作(1.6)	凶作(1.3)	凶作(1.0)	凶作(1.9)	凶作(1.2)
山形県	並作(3.0)	凶作(1.3)	並作(2.5)	凶作(1.5)	並作(3.1)	凶作(1.3)